

カメルーン★どうでしょう

2023年12月
カメルーン通信 No.14
JICA 海外協力隊
出町 卓也

La semaine des droits de l'homme - Accepter les différences.

Bonjour ! カメルーンからでまちです。あっという間に年末ですね。町にはクリスマスツリーや装飾グッズが並び始めています。しかし気温は乾季らしく 30℃を超えています。クリスマス=寒い、というイメージは世界共通ではないようです。

先日、中央アジアにあるキルギスという国で活動している同期隊員と連絡を取りました。キルギスは今マイナス 20℃だそうです。カメルーンとの気温差、実に 50℃。衝撃的な数値にくらくらしました。この通信を書く私の後ろでは、ちょうど扇風機が活躍中ですが、12月のキルギスや日本ではありえない光景ですね。同じ時間が流れているはずなのに、地域によってこんなに気温差があるという事実。クリスマスのイメージもそうですが、地球の広さを感じますね。

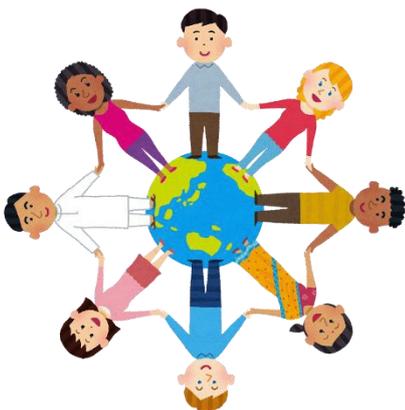


◇人権の尊重→多様性を受け入れる。

12月是人権について考えよう、という活動が多いですね。これは1948年12月10日に『世界人権宣言』が国連で採択されたことがきっかけです。そして1950年から、人権を守るための記念日、人権について考える日として、12月10日が『世界人権デー』と定められました。日本でも、毎年12月4日～10日が『人権週間』となっており、各地で様々な取り組みをしています。先日、私もカメルーンに来るまでお世話になっていた大垣市立東中学校に対しオンライン授業を行い、人権について考える時間を持ちました。



オンライン授業の様子です。ICTは本当に便利です。



人権とは、人間の尊厳に基づいて持っている人間固有の権利です。例えば、人種や身分などで差別されずに各人が平等であること、宗教や思想、学問などを自由に選択できることなどが挙げられますね。

この人権を尊重する上で、私は多様性を受け入れる、認めることが大事だと考えています。「自分と考え方が違うから～」という否定ではなく、「こんな考え方がある」と、他の人との違いを知り、認めることです。なぜなら、人はそれぞれ違うことが当たり前、同じ個性をもつ人は存在せず、自分の人生の代わりは誰にもできないから、です。

◇違いを受け入れられるエゼカの子どもたち。

エゼカの子どもたちは個々の特性や考え方の違いを自然に受け入れてられている、と私は思います。エゼカの小学校は多いところで1クラス100人、平均60人ほどの子どもたちが学んでいます。人数が多い分、様々な家庭環境や育った背景をもつ子どもたちが集う教室。仲良しグループは色々ありますが、そこに特定の子を差別したり、仲間外れにしたりする素振りはありません。むしろ男女関係なく日々遊んだり、時にケンカをして一緒に叱られたりしています。



最近のブーム。ペンをなくさないようにする私を真似ています。



この背景には、カメルーンの多様性があると私は考えます。カメルーンでは250以上の民族があり、その言語（現地語）も様々です。日本の方言のようにだいたい意味が分かる、というレベルではなく、全く異なる言語であるため、カメルーン人同士でも異なる現地語で話すことはできません。そのため、『違う』ことが当たり前なのです。他にも、肌の色が微妙に異なったり、アルビノという白い肌をもつ子がいたり、知的や身体に障がいをもつ子がいたりもしますが、それらの違いも『その人自身の特性』として自分との違いを受け入れているようです。私がエゼカにやってきて早1年が過ぎますが、カメルーン人と異なる点が多い私に対しても、違いを知ることを楽しみ、カメルーンの手法を教えてくれ、日本のあいさつを受け入れてくれるエゼカの子どもたちは、好奇心が強く、懐が広いと感じます。

出会った際にあいさつと調子をたずね合い、周りに声をかけてみんなで一緒に時間を過ごしたり、持っている物をシェアしたりしている姿。お互いを受け入れている証ですね。エゼカの人々は自然に行っています。意識せずとも互いの特性を認め合う姿は、私もぜひ学びたい点です。もちろん、自分がやるには受け入れがたい点もありますが、そこは否定ではなく、『こんな違いがある』と知るだけでも十分でしょう。それもまた『違いを受け入れる』ことであると、私は思います。皆さんはどう思いますか。



初心者の私でも受け入れてくれるサッカーチーム。先日初スタメンでした。

カメルーン国内では、一部で略奪や放火など争いが続く地域もあります。その地域出身の友人が、今は地元に戻ることができない、とつぶやいていました。困難なこともまだまだ多くある世界ですが、今の世界の現状を知ろうとすること、そこにある違いを知ろうとすること、そして自分の周りでもたくさんある違いを受け入れ、自分の個性を大事にすること。みんな違って、当たり前。だから違っていてもいい。そして互いを知り合い、尊重し合う。私自身も、そうでありたいと思います。それでは、A bientôt !